

# JJAOT

2025  
6

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)  
日本作業療法士協会誌



## トピックス

### 協会費の使いみち～メリット・デメリットを超えて～

学術誌『作業療法』第45巻  
紙媒体の有料配付希望受付について

2025年度日本-台湾オンライン研修会 開催案内

作業療法の日イベント企画「あの日のできた」  
エピソードを募集します！

## 協会活動資料

第60回作業療法士国家試験問題について(報告)  
一般財団法人日本公衆衛生協会委託事業  
令和6年度地域保健総合推進事業

# 会員一人ひとりが、 もっと輝ける協会へ。

一人ひとり 性別も年齢も働く場所も違うけれど  
会員それぞれが輝いて、未来へ向かって歩いて行ける  
—そんな活動を展開することが  
日本作業療法士協会の果たすべき役割の一つです。

日本全国の会員の誰もが主役になって、  
共に学び、成長し、作業療法士として輝けるように。  
日本作業療法士協会は、さまざまな声に耳を傾けながら、  
会員とともに発展し、未来を創造していきたい。



## 日本作業療法士協会は、 変わります。

バランスの取れた組織づくりの第一歩として、  
ジェンダーに着目した「クォータ制度」がスタート。  
これからも協会は変わっていきます。  
さまざまな性別・年代・領域の皆さん、  
一緒に、作業療法士の未来を創っていきませんか？



クォータ制度の  
詳しい情報はこちらから



一般社団法人  
日本作業療法士協会  
Japanese Association of Occupational Therapists

### トピックス

- 2 協会費の使いみち～メリット・デメリットを超えて～
- 6 学術誌『作業療法』第 45 巻 1 号～ 6 号（2026 年偶数月発行）  
紙媒体の有料配付希望受付について
- 7 2025 年度日本 - 台湾オンライン研修会  
「日本と台湾の災害支援における作業療法（士）の役割」開催案内
- 8 2024 年度海外研修助成制度採択者からの報告
- 10 2025 年度 作業療法の日イベント企画  
「あの日のできた」エピソードを募集します！
- 11 事務局からのお知らせ

### 連載

- 12 学会 NOTE ①  
▶ 学会テーマと学会長の思いに触れよう！
- 14 生涯学修制度（新制度）がスタート！  
～選ばれる作業療法士になるために～⑥  
▶ 登録作業療法士を目指す皆さんへ 受講料無料！ 前期研修・講義（eラーニング）のご案内
- 19 作業療法士のための組織マネジメント講座⑤

### 23 協会活動資料

- ▶ 第 60 回作業療法士国家試験問題について（報告）
- ▶ 一般財団法人日本公衆衛生協会委託事業 令和 6 年度地域保健総合推進事業  
「都道府県理学療法士会・都道府県作業療法士会における地域・職域での予防・健康づくりを  
目的とした保健活動を推進するための研修の開催および伴走支援のあり方に関する検討事業」

- 33 お知らせ／訃報連絡
- 34 2025 年度 協会研修会のご案内
- 38 催物・企画案内
- 39 日本作業療法士連盟だより
- 40 編集後記



## 協会費の使いみち ～メリット・デメリットを超えて～

事務局

会員の皆さんには毎年 12,000 円の年会費をお支払いいただいています。ありがとうございます。  
決して少額とは言えないこのお金ですが、一体何に使われているかご存じでしょうか。今回のトピックスでは、この「会費」に焦点を当て、何のための会費なのか、会費というものについて考えてみたいと思います。皆さんはどう考えますか？

### 会費は何に使われているのか

以前、ある会員の方から「自分は機関誌はいらないから、そのぶん会費を安くしてもらえないか」という要望が協会事務局に寄せられたことがありました。しかし残念ながら、会費は機関誌『日本作業療法士協会誌』や学術誌『作業療法』の購読料ではありません。確かにそれら定期刊行物の制作にかかる諸費用や送料にも会費の一部が使われていますが、そもそも会費は、協会が会員の皆さんに提供するサービスの対価としていただいているわけではないのです。

### あなたの会費が作業療法を盛り上げる

本会は「作業療法士の学術技能の研鑽及び人格の陶冶に努め、作業療法の普及発展を図り、もって国民の健康と福祉の向上に資すること」を目的としている団体です（定款第3条）。ということは、協会が行うほとんどの事業が「国民の健康と福祉の向上に資する」ために行われているのです。

協会の代表的な事業として、たとえば生涯学修制度があります。学びを通じて作業療法士の専門性を維持・向上できるように、その一つの手段として登録作業療法士・認定作業療法士・専門作業療法士という認定資格やさまざまな研修会があるのです。ですから、あなたが研修会を受講したり、認定資格を取得したりすることは、あな

た個人の臨床能力を高め、キャリアアップになると同時に、あなたを含む作業療法士全体の資質の向上につながり、そういう資質にあふれた作業療法士が行う作業療法であればこそ、国民の健康と福祉の向上により一層貢献できるはずだ、と考えているわけです。

対象者に常に最良の支援を提供することは、国家資格としての作業療法士の公的な使命です。作業療法士の生涯学修だけでなく、日本作業療法学会や学術誌等での学術研鑽、医療保険や介護保険制度、障害福祉サービス等のなかでの適材適所の配置や重点化、新しい職域の開発、利用者や他職種に対する広報や普及活動、内外関係団体との連携交流等、協会のすべての事業活動は直接的にも間接的にもこの公的な使命を達成することに向けて行われています。

会員一人ひとりの側だけだと、あなたは協会が提供してくれるサービスの“受け手”に過ぎないとみえるかもしれませんが、しかし、協会の目的と作業療法士の公的な使命というより本質的な観点からみれば、会員の皆さんは協会活動の主体つまり“担い手”であり、この使命を我が事として実現し、自ら推進していく当事者なのです。

そしてこれら協会の事業活動を、この規模の団体に相応しく量的にも質的にも適切に実現するためには、それなりにお金がかかります。そのための資金となるのが、会員の皆さん一人ひとりからいただいている会費なのです。

つまり会費は、会員一人ひとりがその構成員となって協会の公益的な諸事業を推進していくためのお金であり、自分と自分の組織、そして愛すべき作業療法そのものを盛り立てていくための言わば“ 拠出金 ” なのです。

## 会費収益は、何に使われているのか

### 1) 2024 年度はいくら使われた？

それでは、皆さんの会費は何に使われているかを、もう少し詳しくみていきましょう。

2024 年度の諸経費の合計額は 9 億 2,295 万 8,000 円。このうち事業費が 4 億 3,175 万 5,000 円、管理費が 4 億 9,120 万 3,000 円でした。もちろん諸経費は、皆さんからいただく会費収益額に基づき、それを超えないように予算案を立てて半年間にわたり調整を繰り返して決定されています。

上に書いたように、協会が組織を維持し、事業を行っていくために使うお金、つまり諸経費は主に事業費と管理費に大別されます。事業費は、協会が定款第 7 条に掲げた公益的な目的の諸事業のために支出する諸費用。学術部、教育部、制度対策部、地域社会振興部、国際部、生活環境支援推進室、MTDLP 室、制作広報室が事業を行ううえで使うお金です。管理費は、それ自体は直接的に公益目的事業のための出費ではありませんが、それなしでは公益的な事業を行うこともできない、日本作業療法士協会という法人組織を管理運営するための諸費用、言わば“ ベースキャンプの設置代 ” のようなものです。

### 2) 2024 年度事業費を一人分の会費に割り当てると…

2024 年度の実業費は、4 億 3,175 万 5,000 円でしたが、このうち各部・室による内訳はどうなっていたのでしょうか。少し細かくみてみましょう。

1 億円以上の事業規模をもつのは、学術部 (1 億 674 万 7,000 円)、教育部 (1 億 142 万 4,000 円)、制作広報室 (1 億 6,405 万 5,000 円) です。

学術部は学会運営という作業療法士の学術活動の中核となる事業をもちます。そのため、学会運営費が学術

部事業費の半分近くを占めています。次に大きいのは、学術活動のもう一つの柱である学術誌『作業療法』を中心とした印刷製本費です。とはいえ、学術誌は現在、紙媒体は希望者の受注発行となり、経費削減も図られています。

教育部は、研修会に登壇する講師の方の旅費交通費や謝金、認定証や研修会資料の印刷費や配送費、研修会システムを支える通信費等、生涯学修制度のメインコンテンツである研修会にかかる経費が多くを占めました。ただし、今年度からは研修会資料が Web 化されますので、経費は削減されていきます。

制作広報室の実業費は、全部・室のなかで最も高額です。毎月約 6 万人の会員に配布している本誌や、ポスターやパンフレット等の印刷製本費や配送費が大きな支出となっています。また制作広報室の場合、これらの刊行物・印刷物の制作やさまざまな出展活動や協会ホームページの改修等にあってプロのデザイナーや専門的な業者に委託することが多々あり、これらの委託費もかかっています。ただし、本誌については昨年度より徐々に電子化していく方向を模索しています。

今年度は前号から第 163 号 (2025 年 10 月 15 日) までの 6 回にわたってモバイル対応の電子版機関誌を発行します。今年度は「全会員に協会の情報を発信する」という点を重視し、試験的に紙媒体とモバイル対応電子版、PDF 版の 3 種併用を試み、完全電子化に向けてのステップを築きます。近い将来、本誌が完全電子化された場合、制作広報室の支出の構造は大きく変わる可能性があります。

事業費の代表的な支出として、事業規模の大きい 3 部・室の支出について解説しましたが、ほかの部・室の 2024 年度事業費については表を参照してください。このように 1 億円、数千万円という金額は大きすぎて、皆さんの会費がどれくらい寄与しているのか実感がわきづらいと思います。そこで、これを 12,000 円という一人分の会費額に割り当てると、皆さんの会費がどこにいくら使われているのかイメージしやすいと思います (表・図参照)。

表 2024年度の事業費・管理費の部署別内訳

科目	経費（総額）	比率*	1人分の会費の使途別内訳 （目安）*
<b>事業費</b>	<b>431,755,000 円</b>	<b>46.8%</b>	<b>5,616 円</b>
学術部	106,747,000 円	11.6%	1,392 円
教育部	101,424,000 円	11.0%	1,320 円
制度対策部	26,365,000 円	2.9%	348 円
地域社会振興部	11,872,000 円	1.3%	156 円
国際部	9,938,000 円	1.1%	132 円
生活環境支援推進室	9,753,000 円	1.1%	132 円
MTDLP 室	1,601,000 円	0.1%	12 円
制作広報室	164,055,000 円	17.8%	2,136 円
<b>管理費</b>	<b>491,203,000 円</b>	<b>53.2%</b>	<b>6,384 円</b>
<b>合計</b>	<b>922,958,000 円</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,000 円</b>

※小数点第 2 位で四捨五入しているため、端数に誤差が生じますのでご了承ください。

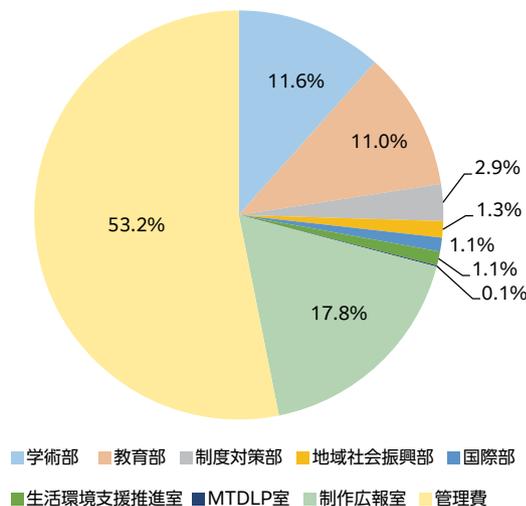


図 一人分の会費における使途別の比率

### 3) 皆さんの会費を効率よく使うための戦略

さて、皆さんからいただいている会費は、皆さんが作業療法士として働くなかで生まれた汗と涙の結晶です。ですので、無駄なく効率的に使わなければなりません。そこで、協会では財務のあるべき方向性を明示した「財務管理指針」を策定し、2024 年度第 1 回定例理事会（2024 年 4 月 20 日開催）にて上程、承認され、同年 5 月 25 日の定時社員総会にて報告されました。

この指針の目的は、会員の会費を主たる原資とする本会の資金が、定款および基本理念に沿って実施される本会の事業と組織運営のために適切に費消（運用）され

るよう、その基本的な考え方を提示することにあります。具体的には、収支状況の把握と明確化、財政シミュレーションの実施、本会の方針（基本理念もしくは活動方針）に照らした事業選定、戦略的な意図や費用対効果を踏まえた資金配分、財務指標を用いた財務分析等、財務管理のあり方や方法の骨子を示します。

この指針のもと、財務に関する外部専門家を交えた戦略会議を随時開催して、効率的で望ましい財務施策を検討し、予算案策定に反映していきます。既に財政戦略会議で議論が進んでいます。

### 会費を払うメリット vs デメリットを超えて

「会費を支払うメリットは何か？」という問いを時々耳にします。この問いに対して、会費を払い、協会員であることのメリットとして「学会や研修会に参加できる」「機関誌等を通じて情報を得ることができる」等、具体的なメリットを挙げることができます。一方で、「メリットを感じられないから」という理由で協会を退会していく方がいるのも（残念ながら）事実です。しかし、会費を支払いひいては会員であることはメリットがあるのか、デメリットは何かという考え方は正しいのでしょうか。正しいとも言え、正しくないとも言えますが、何か大切なことを捉え損ねてしまうように思いませんか？

作業療法が何であり、それをどのように体得すべきかを、自分一人の力で究めた人はいません。

作業療法士として働く場があること、作業療法士の専門性が評価され、それに対する報酬が設定されていることを、自分一人の力で国と交渉して一から開拓し獲得した人はいません。

今のこの激動する時代に、作業療法士にどのような知識や技能が求められているかを、自分一人の力で調査し、情報を得、自分一人の力でそれに相応しい的確な内容と方法で自己訓練ができていない人はいません。

作業療法の有用性を広め、その社会的信用を築くために、全国を行脚して普及・振興を一人だけで行っている人はいません。

これらのことはすべて、全国から作業療法士が集まり、本会を築き上げ、約60年の歳月をかけた組織的な取り組みを通して、学術的な知見を積み上げ、教育研修を通

して専門職としての質の維持・向上を図り、その有用性の普及・振興に努め、全国組織であればこそ相手してくれる国や他団体に対して粘り強く交渉を重ねてきた成果なのです。

約60年前に灯ったともしびはたしかに大きくなりました。しかし、大きくなったからとはいえ、その火は未来永劫消えることがないという保証はどこにもありません。これからも作業療法士という専門職があるかぎり絶えず、あなたが選び、愛し、誇りに思っている作業療法を盛り立て続けていかなければなりません。

「会費を支払うメリットは何か？」という問いに戻りますが、一般的な商品やサービスを買うのであれば、その価値に対して価格が安ければ安いほどお得です。個人の損得勘定でいうところの“お得感”としてのメリットなら、そのようなメリットはさほど大きくないかもしれません。しかし、メリットとは“コスパ”だけで計れるものではないということも、あなたは直感しているかと思います。つまり、あなたが今作業療法士として働いていること、そして、あなたが作業療法士であることが多くの患者さん・利用者さん・ご家族・地域住民の方々の役立っていること——これこそが“コスパ”では計れない最大のメリットではないでしょうか。そして、このことは、作業療法士という専門職が存在することの善さ、作業療法の存在意義に向けて昇華していくものであるように思います。会員の皆さんから拠出していただいている会費はその善さをさまざまな側面から実現していくためにこそ使われています。協会のこうした役割を果たせるよう、あなたの会費が正しく使われているか注視していただき、ご意見もいただければ幸いです。



## 学術誌『作業療法』第45巻1号～6号（2026年偶数月発行） 紙媒体の有料配付希望受付について

学術部

**昨年と申し込み期間が異なります。  
また、購読料（会員価格）の納入が必要です。ご注意ください。**

学術誌『作業療法』は、以下の方法により電子媒体を無料でご覧いただけます。

- ① J-STAGE での個別記事閲覧
- ② 会員限定：「学術データベース」での個別記事閲覧（37巻以前も参照可能）
- ③ 会員限定：会員ポータルサイト「ライブラリ管理」で公開されている URL より、冊子体データの閲覧（43巻1号より）

**紙媒体年間予約購読料 会員価格：4,000円**

（ただし46巻以降、変動の可能性があります）

希望される会員はまず下記 URL より必要事項を入力して、受付期間中にお申し込みください。締め切り後に入金のための払込取扱票を発送しますので、用紙に記載の期日までに納入ください。期間外のお申し込みは受け付けられませんのでご注意ください。

**紙媒体（有料）希望受付期間：2025年7月1日（火）～8月31日（日）**

URL：<https://forms.gle/ND1mQftiQy6zo8ae7>

下記二次元コードからも申し込みページへアクセスできます。



※PCからお申し込みをされますと自動返信メールが配信されますので、そのメールは大切に保管しておいてください。

※現在紙媒体での配付を受けている会員の皆様も第45巻の会員価格での購読を希望する場合には、改めてこの申し込みの手続きが必要となります。自動継続とはなりませんのでご注意ください。

※年間予約購読料は、期日までに所定の口座へお振込みください。期日までに年間予約購読料の払込みがない場合は、**自動的に申し込み取消しとなります**のでご了承ください。

※配付年中に日本作業療法士協会を退会された場合、購読料を振込まれていても退会以降発行の学術誌は送付いたしません。また、前払いとなっている年間予約購読料は返金できません。（例：2026年3月をもって退会した場合、学術誌4月・6月・8月・12月号の購読お申し込みは無効になります）

※永年会員も会員価格での購読が可能です。ご希望の場合は上記の方法でお申し込みください。



## 2025 年度日本 - 台湾オンライン研修会

# 「日本と台湾の災害支援における作業療法(士)の役割」開催案内

国際部 国際交流課

2022 年 12 月、臺灣職能治療學會（台湾作業療法士協会：TOTA）との 2 協会間の学術交流協定が実現しました。2017 年から続いている日本 - 台湾作業療法ジョイントシンポジウムは、2023 年に第57回日本作業療法学会（沖縄）の会期中に開催し、次回の日本での開催は 2027 年を予定しています。

そしてこのたび、両協会の学術交流の活性化を目指し、両協会共催で教育部重点課題研修（国際部国際交流課企画、地域社会振興部災害対策課協力）を開催することとなりました。テーマは「日本と台湾の災害支援における作業療法士の役割」です。各協会から 2 名の講師（合計 4 名）に講義いただき、講師と参加者による意見交換も予定しています。日本および台湾の災害支援体制について基礎的な知識を得て、日本と台湾それぞれの災害支援体制を知ることができます。本研修会が、日本と台湾それぞれの災害支援のあり方と国際連携（国際支援）について考えるきっかけとなり、TOTA の講師や会員と交流を図る機会になることを期待しています。

本研修会は台湾人作業療法士（JAOT/TOTA 会員）のご協力のもと、日本語⇄中国語の逐次通訳で実施いたします。通常の研修会とは異なり通訳の時間を含めた研修会スケジュールとなりますこと、あらかじめご了承ください。

## 2025 年度日本 - 台湾オンライン研修会 「日本と台湾の災害支援における作業療法(士)の役割」 開催概要

- 開催日時 2025 年 9 月 28 日（日）9：30～16：30（日本時間）
- 形式 Zoom を用いた Web 開催（逐次通訳付き）
- 言語 日本語、中国語
- 受講対象者 日本作業療法士協会会員および台湾作業療法士協会会員
- 定員 100 名（JAOT）
- 受講費 4,000 円
- 主催 日本作業療法士協会、台湾作業療法士協会
- スケジュール（予定。変更の可能性あり）
  - 9：00 受付開始
  - 9：30 開会
  - 9：40-10：40 講義 1 日本の災害支援体制と作業療法の役割
  - 10：50-11：50 講義 2 台湾における災害支援と作業療法の実践
  - 12：45-13：45 講義 3 災害時の作業療法の具体的支援方法：日本の事例
  - 13：55-14：55 講義 4 台湾における実践的支援と OT の貢献
  - 15：10-16：10 講師・参加者による意見交換
  - 16：10-16：30 アンケート、閉会
- 申込み方法 協会ホームページの会員向け情報>研修会よりお申込みください。
  - ※申込は先着順ではございません。
  - ※「備考」欄をご確認ください。



# 2024 年度海外研修助成制度採択者からの報告

国際部

2021 年度から始まった本制度は、2021 年・2023 年・2024 年で延べ 13 名の国際学会での発表や海外施設への訪問・研修等へ参加するにあたっての経費を支援してきました。本誌では、2024 年度制度の採択者 2 名から、

施設訪問の結果をご報告いただきました。

次号 160 号（2025 年 7 月 15 日発行）では 2026 年度海外研修助成制度の募集要項を掲載いたしますので、奮ってご応募ください。

福山市民病院

藤井 裕康

今回の海外研修で、私はオーストラリアのメルボルンにある Melbourne Hand Rehab に行きました。メルボルン各地に 12 のクリニックを展開する、ハンドセラピー専門のクリニックです。創業 30 年弱の老舗で、多国籍のセラピストが約 30 名所属しています。1 人のセラピストが 1 日に 10 ~ 15 名の患者を担当しています。対象は小児から高齢者まで幅広く、橈骨遠位端骨折や手指骨折等の術後、総合診療医からの紹介による腱鞘炎や手根管症候群、慢性疼痛等、多岐にわたる疾患にかかっています。さらに、オンラインでの遠隔での介入を導入し、地理的・時間的な制約のある患者にも対応し、無料ウェビナー等を通じて、地域住民への知識提供にも力を入れています。

今回の研修で得た学びは、①介入内容の構成の違いと日本での適応、②遠隔リハビリの可能性です。Melbourne Hand Rehab では、評価と患者教育が重視され、面接・触診・疾患別評価をもとに、病態の説明と回復過程の見通しを共有しながら治療方針を決定していました。自主練習の重要性を強調し、動画を活用した運動指導も実施されていました。特に現地のセラピストの先生が

「Therapist has responsibility for patient's recovery. But patient also has responsibility to own recovery. (セラピストは回復の責任を負うが、患者さん自身も責任をもつ)」という言葉が印象的でした。この言葉に裏付けられるように、患者さんが主体的に回復に取り組むための自主訓練等の支援が介入の大半を占めていました。この自主訓練や患者自身の疾患理解を深める介入は、日本でも応用可能な要素と感じました。

遠隔リハビリでは、視診や問診を活用し、状態に応じた運動の提供や、回数・負荷の調整が可能でした。対面のような徒手療法は困難ですが、オンライン上で評価や指導を行うことで、過疎地域や遠隔地の医療提供にも活用できる可能性があると感じました。今後、視覚的評価や指導のスキル向上が求められると考えられます。本研修は日本の臨床にも応用できる示唆を得る貴重な機会でした。異文化にふれる機会を増やしてさまざまな価値観を学ぶことは、作業療法士として、また一人の人間として成長できるステップになりました。貴重な機会をくださり、誠にありがとうございました。



写真 1 Melbourne Hand Rehab 創設者の Karen Fitt 氏 (写真右。左が藤井氏)



写真 2 Ivanhoe clinic の先生方 (写真下段中央が藤井氏)

今回、本助成を受け、インドネシア・スラカルタを訪問しました。POLITEKNIK KESEHATAN SURAKARTAの作業療法学科の教員の方々のご協力のもと、さまざまな施設を見学し、現地にて日本の作業療法についての講義も行いました。

当院では東京都立大学作業療法学科と連携し、インドネシアをはじめとする東南アジア・南アジア諸国の作業療法士・学生・教員の皆様の見学を定期的に受け入れています。そうしたご縁から、今回、同じ島国であるインドネシアの作業療法を学ぶとともに、高齢化先進国である日本の作業療法実践を現地に紹介し、相互理解と今後の連携の可能性を探ることを目的に訪問しました。

インドネシアでは作業療法士の数が日本と比較して少なく、多くが大規模な公立病院やクリニックに勤務しており、都市部に集中しています。訪問リハビリテーションや高齢者施設等、地域における実践はまだ発展途上にあります。見学した病院では、成人と小児で作業療法部門が分かれており、外来中心の介入が行われていました。個別対応というよりは、作業療法士の管理のもとで機能訓練や作業活動を行うスタイルで、日本でも見慣れたペグボードやサンディ

ングボード、ピンチエクササイズ等の道具が使用されていました。介入は概ね週2回で、保険制度により約2週間で終了します。評価は経験に基づいた観察が中心となっており、独自の評価法の開発が求められていることがうかがえました。また、見学した病院にはスヌーズレン・ルームが設置されており、小児分野のニーズの高さも感じられました。学生への講義は英語で行い、日本の高齢社会の現状や作業療法実践、認知症カフェ等、地域活動の紹介を行いました。拙い英語ながらも学生たちは熱心に聴講してくださり、多くの質問をいただきました。

作業療法が発展途上にある国々において、日本の作業療法士がリーダーシップを発揮し支援していくことが求められると思います。そのためにも、グローバルな視野をもつ作業療法士の育成が重要になると感じています。日本国内での海外作業療法士や学生の受け入れを推進し、本助成等を活用した実践視察を通じて、より一層の国際化が求められます。この報告がその一助となれば幸いです。詳しくは、協会ホームページに実績報告として掲載しております。そちらもご参照ください。



写真3 POLITEKNIK KESEHATAN SURAKARTA 作業療法学科での講義にて  
(写真中央が楠本氏)



## 2025年度 作業療法の日イベント企画 「あの日のできた」エピソードを募集します！

制作広報室

本会では、協会設立日である9月25日を「作業療法の日」としています（2008年第5回定例理事会にて承認）。今年も「作業療法の日」にちなんだイベントとして、「あの日のできた」エピソードを募り、採用されたエピソードを9月25日に公開します。作業を通して患者・利用者ご本人と作業療法士がともに力を出し合い、「できないと諦めていたことができるようになった」「これまでできなかったことができるようになった」「大切な作業と向き合った」、そんな記憶に残るエピソードをぜひお聞かせください。

### 作業療法の日イベント「あの日のできた」 エピソード応募要項

#### ◎募集テーマ：「あの日のできた」

ご本人（患者さん、利用者さん）ができなくなったこと、諦めかけたことが作業（療法）を通じてできるようになったり、大切な作業と向き合えたりしたエピソードを、ご本人の感想、ご家族の反応、作業療法士の視点から加えた工夫等も交えてご執筆ください。

なお、エピソードのタイトルは、応募者がつけてください。

#### ◎応募資格

ご本人による執筆だけでなく、ご家族や作業療法士との共同執筆でもOKです。会員の皆さんはぜひご本人に本企画を勧めてください。

#### ◎原稿の文字数・写真

100～400文字程度。原稿に加えて、できれば作業（療法）をしている写真も添付してください。

※写真がなくても応募可能です。

※文章の巧拙を審査するものではありません。文章を書くのが苦手な方も奮ってご応募ください。

※いただいた原稿を編集担当者が修正・追加取材をすることがあります。

#### ◎応募方法

原稿（Word、もしくはテキストファイル）、できれば作業場面の写真（jpeg・png等の画像ファイル）を添付していただき、メールに郵便番号、住所、氏名、ペンネーム（匿名を希望する場合）を記載してお送りください。

応募先、問い合わせ先 [public-relation@jaot.or.jp](mailto:public-relation@jaot.or.jp)（制作広報室）

応募作品のなかから、制作広報室が審査し、ホームページに掲載するエピソードを選びます。採用された方には、**オーティクングッズをプレゼント**します!!

#### ◎締め切り

2025年7月31日（木）到着分まで

#### ◎重要事項

- ・応募作品は、本会のホームページ等、本会の広報媒体で公表することがあります（写真も同様）。したがって、応募作品は未発表のものに限り、当事者等、関係者の承諾を必ず受けてください（応募された作品は、承諾を受けているものとみなします）。
- ・応募された作品の著作権は、一般社団法人日本作業療法士協会に帰属します。
- ・作品に関して万が一、第三者とトラブル等があった場合は、本会は一切の責任を負いかねます。
- ・応募時に記載された個人情報、記念品の発送および本件に関する諸連絡以外の目的以外には使用いたしません。



## 事務局からのお知らせ

### ◎第 59 回日本作業療法学会 事前参加登録について

第 59 回日本作業療法学会は、現地とオンデマンドによるハイブリッド開催となりました。学会の参加登録は、2025 年度の日本作業療法士協会年会費の納入が条件となります。参加を希望している会員の方は、すみやかに 2025 年度の年会費をご納入願います。

参加登録は、学会ホームページ (<https://ot59.umin.jp/index.html>) からお願いいたします。

### ◎年会費をご納入ください

2025 年度の年会費をご納入ください。年度末までに年会費のご納入がありませんと、会員資格を喪失し、種々の不利益が生じることになります。お忘れにならないうちに、できるだけ早くお納めくださいますようお願いいたします。

協会よりお送りしている、バーコードが印字されている振込用紙はゆうちょ銀行（郵便局）やコンビニエンスストアのほか、インターネットバンキング、各種アプリでもご利用いただけます。ご都合に合わせて納入方法をご選択ください。振込用紙を紛失された方、金額が不明な方は、協会事務局 ([kaihi@jaot.or.jp](mailto:kaihi@jaot.or.jp)) までお問い合わせください。

なお、7 月中に年会費のご納入がなかった方には、8 月に協会事務局より督促状をお送りします。ご納入と行き違いになりました場合はご容赦ください。

### ◎ご自身の登録情報が最新かどうかをご確認ください！

協会に登録している勤務施設は現在の職場でしょうか。協会より会員所属施設宛に郵送物等をお送りしますと、既に退職済みとのことで返送されてくる場合があります。また、発送先を自宅宛とご指定いただいている場合、勤務施設に関する情報が更新されず、古い勤務施設の登録が残ったままになっている場合があります。協会にご登録いただいている施設にその会員が所属しているものと判断しますので、ご自身の登録している勤務施設情報が最新であるかどうかを確認し古い情報のままでしたら修正・更新をお願いいたします。

#### 【登録情報の確認方法】

協会ホームページより、会員ポータルサイトにログインし「基本情報変更」で登録情報の確認・修正が可能です。

※パスワードを忘失された方は再発行することができます（協会ホームページ>会員ポータルサイト>パスワードの再発行はこちら）。

※新しい会員管理システムでは、研修受講カードがなくてもパスワードを再発行いただけます。



●会員ポータルサイトはこちら

### ◎休会に関するご案内

現在は 2026 年度（2026 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日）の休会を受付中です。休会制度の詳細および「Q&A」については協会ホームページをご覧ください（協会ホームページ>会員向け情報>諸手続き）。なお、2026 年度の休会を申請する方は 2025 年度の年会費をご納入のうえ、会員ポータルサイトよりご申請ください。その他ご不明な点は協会事務局 ([kaiinkanri@jaot.or.jp](mailto:kaiinkanri@jaot.or.jp)) までお問い合わせください。

## 学会テーマと学会長の思いに触れよう！



## 第59回日本作業療法学会（高松）のご案内

### 作業療法の価値を高めるエビデンスの創出



会 期：〈現地開催〉2025年11月7日（金）・8日（土）・9日（日）

〈オンデマンド配信〉2025年11月7日（金）～2026年1月12日（月）

会 場：サンポートホール高松、かがわ国際会議場、あなぶきアリーナ香川

学会ホームページ：<https://ot59.umin.jp/index.html>

学会長：能登 真一（新潟医療福祉大学リハビリテーション学部）



#### 本学会のテーマに込めた思い

##### キーワードは「価値 value」

第59回高松学会のテーマは「作業療法の価値を高めるエビデンスの創出」としました。さまざまな商品やサービスがあふれ、そして多様化していく現代社会ですが、そこで選ばれて生き残っていくためには、それらを楽しむ消費者にその商品なりサービスなりの価値を認めてもらう必要があります。

身近にあるものを思い浮かべてみても、たとえば外食する際に行きたいと思うお店には美味しい食事や楽しい雰囲気等、それなりの価値があるはずです。また、化粧品や洋服等についても、限られた予算のなかから「これに決めた！」という思考の過程でそれらの商品の価値を認めているに違いありません。無形のサービスの代表格は美容院だと思いますが、そのサービスに対してもカットが上手であるとか、いつも優しく対応してくれるといった何らかの価値を感じているはずです。

さて、作業療法はどうでしょうか。作業療法の価値とは何なのでしょう。

#### 作業療法は「サービス業」

私事で恐縮ですが、作業療法士になる前に複数の一般企業で6年ほど営業職に就いていました。そこでは商品も売ることがありましたが、サービスを買ってもらうこともありました。さて、閑話休題ですが、作業療法は商品でしょうか、あるいはサービスでしょうか。また、それは売れるものなのでしょうか、買ってもらうのでしょうか。

もちろん作業療法をはじめ、医療や介護はサービスです。ただし、買ってもらうというよりも選んでもらうものだと認識しています（もちろん患者さんや利用者のすべてがそれを選べるわけではありません）。

それでは、数あるサービスのなかから自分自身が提供する作業療法を選んでもらうにはどうしたらよいでしょうか。

#### あなたが提供する作業療法の価値とは何ですか？

再び経験談ですみませんが、私自身が臨床で働いていた頃、疑問に思っていたことがあります。それは「今やっている作業療法って効果があるの？」「意味があるの？」ということでした。当時は新人でしたから知識や技術も未熟で、先輩の見様見真似でやっていた作業療法でした。

はたから見てもいい加減なものだったと思います（実際に結構叱られました）。ただ、今思えば、その時の疑問や経験が、逆に作業療法の効果や意味を何とか明らかにしたいという欲求を惹起させたような気がします。皆さんはそのような疑問をもったことや先輩から叱られたことがありますか。

このような経緯から私自身は、作業療法の価値や意味とは「効果的な作業療法を提供すること」だと思ようになりました。効果のない作業療法を提供されるのは誰も望まないだろうし、そこに価値はないだろうと。もし患者さんや利用者さん、あるいはそのご家族が担当してもらおう作業療法士を選べるとしたら、自分を選んでもらえるような自信をもったアピールをすることができますか？ そもそも、あなたの作業療法の価値とは何だと考えますか？

### 発表することの意義と問われる真価

学会、つまり学術集会は、各自が正しいと思い込んでいる最先端の評価や治療の取り組みと、微力かもしれないけれども精一杯今できる成果をアピールする場です。見方を変えれば、それを別の視点から批判してもらおう絶好の機会と言ってもいいかもしれません。そのような各自の、言わば盲目的なチャレンジを他人の目にさらすことによって、自らの作業療法士としての真価を問うことになるのです。

第59回高松学会には、第57回沖縄学会を超える1,547演題の応募がありました。この一つひとつの演題は全体からするとちっぽけな存在かもしれませんが、それがいずれ作業療法の価値として大きな実を結ぶ日が来ると信じています。

### 協会が主催する学会の魅力、会員であることのメリット

長きにわたり各都道府県作業療法士会が日本作業療法学会を主催してきましたが、第50回大会（2016年）から協会が主催するようになりました。そして、昨年までは一般演題の発表を中心とする運営方針で開催してきました。

しかしながら、「研修目的のプログラムをもっと増やしてほしい」という多くのご要望に応えるべく、プログラム全体を大きくつくり変えました。今回のプログラムには「演題の発表も大事だけれども同時に最新の知見に触れることも同じくらい重要だよ」「協会の会員で良かった」と実感してもらえるよう期待を込めています。

### ハイブリッド開催の魅力

最後に、こうして用意したたくさんの特別なプログラムも、その数はまだまだ十分ではないかもしれません。期待していたテーマがないと思われるかもしれません。それでも、ぜひ欲張ってたくさんのプログラムに参加してみてください。きっと目から鱗の感動が得られると思います。

また、都合が合わずに現地参加できない方、現地に行っても聴きたいプログラムがダブルブッキングしていて残念に思われている方でも大丈夫です。すべてのプログラムはオンデマンド配信をしますので、期間中であればいつでもどこでも、そして何度でも視聴が可能です。こんなにたくさんの講演が聴けるのはお得じゃないかなと、手前味噌ながら思っている次第です。

蛇足ですが、香川県は「うどん」も大いなる魅力であることに疑いはありませんから、ぜひそちらも楽しみにお越しくださいませ。

## 登録作業療法士を目指す皆さんへ 受講料無料！ 前期研修・講義（eラーニング）のご案内

2025年度以降に本会へ入会された方は、「登録作業療法士」の取得に向けて、前期研修のeラーニング講座（図1）  
を無料で受講することができます。これを機会に、ぜひ登録作業療法士を目指してはいかがでしょうか？

### ご注意

2024年度までに入会した方は、登録作業療法士を取得するためには、基礎研修を修了すること、臨床実習指導者講習会または理学療法士作業療法士言語聴覚士施設教員等講習会を受講することが必要です。

また、2027年3月31日までの実績を踏まえて登録作業療法士取得要件と読み替えることもできます（申請手続きは2029年3月31日まで）。協会ホームページをご確認ください。



● 「生涯学修制度」ページはこちら

※ 2024年度までに入会した方は前期研修を受けることはできませんが、すべての前期研修eラーニング講座を無料視聴することは可能です。視聴方法および視聴開始日は後日、本誌、協会ホームページにてご案内いたします。



図 1 生涯学修制度全体における登録作業療法士制度前期研修の位置付け

### eラーニング講座の魅力

#### ◎いつでも、どこでも学べる！

eラーニング講座はCloud Campus（外部配信システム）を使用し、PC・タブレット・スマートフォンで受講可能です。1講座につき約30分ですので、仕事終わりや通勤時間等の隙間時間に、ご自身のペースで学習できます。また、ネットワーク環境さえ確保できれば受講に場所を選びませんので、子育てや介護が忙しくなかなか外出できないという方でも、ご自宅にいながら受講できます。

#### ◎臨床に活かせる実践的な内容！

講義は、各分野の第一線で活躍する講師陣が担当します。もちろん内容は臨床現場で“すぐ活かせる”視点が満載ですので、学べば学ぶほど作業療法士としてのレベルアップを実感できます。

講座の内容は、「脳血管疾患」や「整形疾患」、「統合失調症」や「気分障害」、「脳性麻痺」や「神経発達症」といった疾患についての講座のほか、「福祉用具」や「住宅改修」、「就労支援」や「自動車運転再開支援」といった介入のポイント、「医療保険制度」や「介護保険制度」といった制度の理解を深めるもの、「生涯学修」や「キャリア形成」「ワークライフバランス」等、皆さんのキャリアプランニングにかかわるようなテーマを基礎から応用まで幅広く用意しています。

講座数は充実の70タイトル（表1）！受講の順番は自由なので、興味のある講座から気軽に始められます。講座の受講順は決められていませんので、まずは職場でよくかかわる疾患や技術に関する講座の一つを選んで、ぜひご視聴ください。

表1 生涯学修制度 登録作業療法士前期研修 eラーニング講座一覧 (2025年度)

A 領域 作業療法士基礎力 ～臨床実践のための基礎知識～		B 領域 作業療法分野横断的基礎力 ～臨床実践のための共通知識～		C 領域 作業療法分野特異的専門力 ～臨床実践のための専門知識～	
	テーマ		テーマ		テーマ
1	職業倫理①【法律、社会全体に関する内容】	1	一次救命処置①【基礎】	1	身体障害 脳血管障害①【急性期】
2	職業倫理②【作業療法領域での倫理】	2	一次救命処置②【手技】	2	身体障害 脳血管障害②【回復期】
3	職業倫理③【臨床、実習指導での対応】	3	クリニカルリーズニング①【基礎】	3	身体障害 脳血管障害③【生活期（維持期）】
4	協会組織【作業療法定義・対象・目的】	4	クリニカルリーズニング②【面接の活用】	4	身体障害【がん】
5	作業療法の動向①【世界から見た日本の動向と現状】	5	クリニカルリーズニング③【活動分析の活用】	5	身体障害 整形疾患①【骨折、骨折関連】
6	作業療法の動向②【世界の動向と現状】	6	クリニカルリーズニング④【統合と解釈】	6	身体障害 整形疾患②【脊損】
7	作業療法の動向③【国際交流、国際協力】	7	クリニカルリーズニング⑤【効果判定】	7	身体障害【内部障害】
8	作業療法における協業①【対象者、家族】	8	作業療法研究①【作業療法実践とエビデンス】	8	身体障害【難病】
9	作業療法における協業②【多職種連携】	9	作業療法研究②【臨床研究概論】	9	精神障害 統合失調症①【急性期】
10	作業療法における協業③【災害時の対応、平時の取り組み】	10	作業療法研究③【研究結果のみかた】	10	精神障害 統合失調症②【回復期～生活期（維持期）】
11	マネジメント【リーダーシップとセルフマネジメント】	11	作業療法研究④【医療統計】	11	精神障害【気分障害】
12	介護保険制度【概論】	12	作業療法研究⑤【学会発表・論文発表】	12	精神障害【依存症】
13	医療保険制度【概論】	13	作業療法研究⑥【事例報告】	13	発達障害【脳性麻痺】
14	障害者総合支援制度【概論】	14	リスクマネジメント①【感染予防・対策】	14	発達障害【重症心身障害】
15	地域包括ケアシステム【概論】	15	リスクマネジメント②【暴力リスクアセスメント】	15	発達障害【神経筋疾患】
16	作業療法実践に関する記録・報告【概論】	16	保健・医療・福祉と地域支援①【地域包括ケアシステム】	16	発達障害 神経発達症①【基礎】
17	作業療法生涯学修概論①【OT協会、都道府県士会】	17	保健・医療・福祉と地域支援②【共助、互助】	17	発達障害 神経発達症②【作業療法実践】
18	作業療法生涯学修概論②【生涯学修制度】	18	保健・医療・福祉と地域支援③【特別支援、総合支援法】	18	老年期障害【廃用症候群】
19	作業療法士の働き方・展開①【キャリア形成】	19	MTDLP 基礎【概論】	19	老年期障害 認知症①【基礎】
20	作業療法士の働き方・展開②【ワークライフバランス】	20	MTDLP 基礎【活用】	20	老年期障害 認知症②【作業療法実践】
				21	老年期障害【介護予防】
				22	老年期障害【地域リハビリテーション】
				23	司法領域の作業療法【概論】
				24	義肢装具【種類、目的、適応、制度】
				25	福祉用具①【シーティング、ポジショニング】
				26	福祉用具②【各種用具、自助具】
				27	自動車運転【再開に向けた取り組み】
				28	就労支援【復職の流れ、各種サービス】
				29	住宅改修【概論】
				30	高次脳機能障害【概論】

## Cloud Campus の使い方

eラーニング講座の受講にあたっては、配信システム「Cloud Campus」を使用します。システムへのログインから講座の視聴までの流れをご案内します。

### ■ ログイン可能時期について

新入会員の方の情報は、事務局にて登録いたします。そのため、ログインできるのは原則として入会月の翌々月1日からとなります（例：4月入会 → 6月1日よりログイン可能）。

## ■ ログインの流れ

① <https://ccampus.org/> にアクセスする

② 以下の3つを入力してログイン

• サイトID: jaot

• ログインID: jaot-xxxxxx

※ 「xxxxxx」にはご自身の\*\*会員番号(6桁)\*\*を入力してください。

※ 会員番号は、研修受講カードや電子会員証(会員ポータルサイト内)でご確認ください。

• パスワード: ご自身の生年月日8桁(半角数字)

例: 2000年4月1日生まれは「20000401」

※ 初回ログイン後は、必ずご自身でパスワードを変更してください。

## ■ Cloud Campus ログイン後の画面イメージ

1講座は約30分の動画とテスト、アンケートで構成されています

- どの領域、講座から受講しても構いません
- 動画を視聴し、確認テストに合格することで修了となります
- 受講後のアンケートは必須です

## ■ 視聴画面

講義動画が再生されます。受講を開始してください

## ■ 進捗画面

進捗画面のスクリーンショット。A領域「作業療法士基礎力」の進捗状況が示されています。11/61 コース進捗、300/1700 総得点と表示されています。黄色い吹き出しには「学習が進んでいくと、コース進捗、総得点が増えていきます」と記載されています。

## ■ 受講完了画面 (A領域)

受講完了画面のスクリーンショット。A領域「作業療法士基礎力」の進捗状況が示されています。61/61 コース進捗、2000/2000 総得点と表示されています。赤い枠で「受講完了」ボタンが強調されています。黄色い吹き出しには「受講完了が表示される」と記載されています。また、下部の黄色い吹き出しには「A領域の講座は全て終了です B領域、C領域の受講を継続してください」と記載されています。

### <お問い合わせ先>

- 視聴に関するお問い合わせ [ot-kenshu@jaot.or.jp](mailto:ot-kenshu@jaot.or.jp)
- 登録作業療法士制度全般のお問い合わせ [ot-syougaiyouiku@jaot.or.jp](mailto:ot-syougaiyouiku@jaot.or.jp)

日本作業療法士協会 倫理委員長・元竹田健康財団 介護福祉本部長

太田 睦美

今回は、「リスクマネジメント」について説明します。

「リスク」という言葉には、一般的に「リスク≒危険」だから「避けて通りたいもの」というイメージがあると思います。英語の“risk”の辞書的な意味には「将来のいずれかの時において何か悪い事象が起こる可能性」とありますから、リスクに対して“負の感情”を抱くことは当然のことと思われれます。

ですから、リスクをどうにか低減したいと思うは、当然の感情と言えます。そこで出てくるのが「リスクマネジメント」(risk management)です。リスクの語源はラテン語の“risicare”(リジカーレ)という語で、「悪い事象が起こる可能性を覚悟のうえで勇気をもって試みる」という意味だそうです。リスクの語源には、危険があっても「やってみる」というニュアンスが見て取れるのは興味深いことです。リスクをなくすことはできないけれど、覚悟して乗り越えるというマネジメント的な発想が語源にも含まれています。

日本産業規格では、リスクマネジメントを「リスクについて、組織を指揮統制するための調整された活動である」と定義し、和文表記を“リスク管理”または“危機管理”と説明しています(やはり“risicare”の意味に似ています)。英語でも、①「理論・考え方として使用される場合のRisk Management」と、②「実際に行う活動を意味する場合のRisk Management Practice」の2つを挙げて説明されています。

今回紹介する内容は、私が就業中に取り組んだものから、そういう意味では②の「実際に行う活動を意味する場合のRisk Management Practice」の1事例となります。

### 取り組みの経緯

リスクマネジメントで、私が最初に取り組んだのは「苦情解決制度」でした。きっかけは、元の所属の介護福祉本部(在宅生活支援のための社会福祉事業等を運営・統括する役割)においては、苦情解決制度は、介護保険制度導入時から「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第36条第1項(苦情処理)」として

定められており、2004年度ころからその普及が本格化したため、同年度より取り組み始めました。前後して、所属法人において医療事故防止の取り組みが始まりましたので、それと連動して介護福祉本部においても介護(ケア全般)や事務処理、車両運行での「事故防止」に取り組みました。その後、東日本大震災時の対応経験やハラスメント防止対策等々を進めてきました。

### リスクマネジメントの実際

#### (1) リスクマネジメント体系をまとめる

リスクのマネジメントについて取り組みを重ねてきた結果が図1の「リスクマネジメント体系」です。職場で取り組むべきリスクマネジメントを整理したものです。このように整備すべきリスク項目を抽出し1枚の絵にすることで、何を、どのような順番で、どのように進めればいいのか、みえてきます。なお、この図では、日常業務として行う事項は丸数字で示しています。四角数字はリスクが発生した時に対応する事項です。

体系(かたち)を整えることと併せて、現場の職員一人ひとりと職場が日常的に運営されているかどうか、情報が広く公開されているかも加味することで真のリスクマネジメントとなります。焦らずに取り組んでいきましょう。

#### (2) 日常業務化のための取り組み

職場においてリスクマネジメントが日常的に運営されている状態にするためには、職員教育と併せて、マネジメントしやすい作業環境を整えることが大切です。

私が作業環境の整備に取り組んだ主な項目は、取り組む意味や必要性、基本的な仕組み、運営方法、運営に必要な書類等でした。表1に、①苦情解決制度、②事故防止(介護、事務、車両)、③ハラスメント防止における「自主運営のための仕組みと運営方法」を紹介します。

#### (3) 日常業務化と情報公開

これらの仕組みと運営方法を日常業務化、情報の公開・共有化するために次のようなことを行いました。もちろんこ

## リスクマネジメント体系

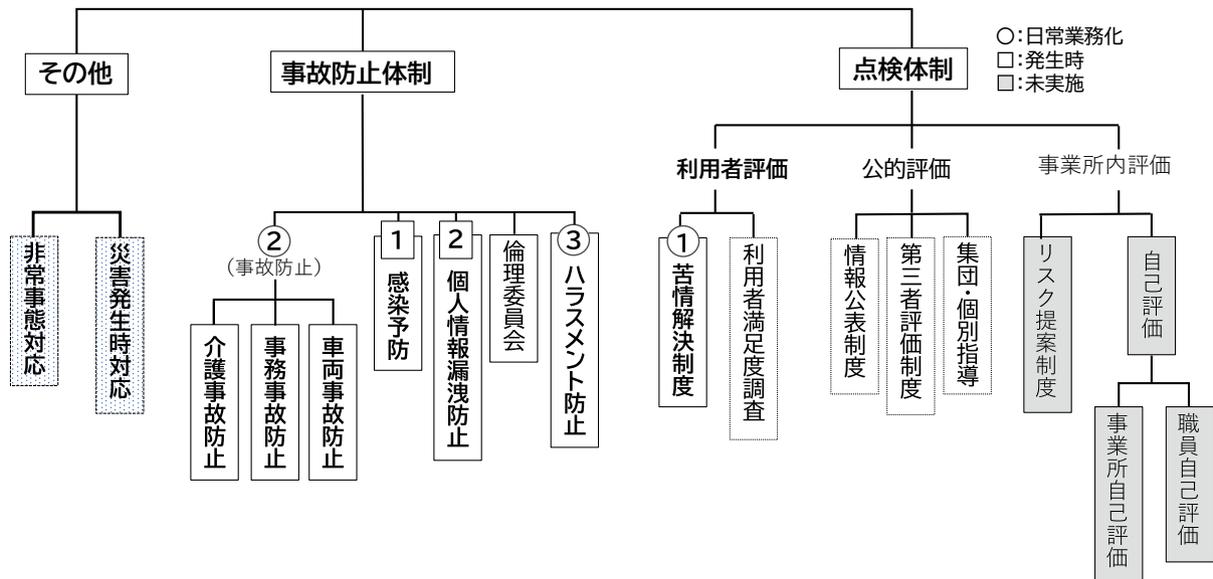


図1 リスクマネジメント体系の実例

表1 リスクマネジメント自主運営化のための仕組みと運営方法

リスク	基本的仕組み	運営に必要な書類等	運営方法
苦情解決制度	運用に関する説明書 苦情解決処理の流れ 苦情解決制度に関する規程	①苦情申し出書 ②苦情受付・対応書 ③苦情受付書（第三者委員→苦情申し出人） ④話し合い結果記録書 ⑤改善結果報告書 ⑥苦情記録簿	・事業所の長中心に事業所ごと運営 ・半期ごとに実施結果報告会（第三者委員出席）開催 ・情報の共有化
事故防止	介護事故防止	①介護事故報告書（時系列に記述） ②介護事故分析用紙1（時系列に記述） ③介護事故分析用紙2（事実の記述） ④介護事故分析用紙3（結果と対策）	・事故防止委員会中心に事業所ごと運営 ・毎月、結果を報告（情報の共有化）
	事務事故防止	①事務事故報告書（時系列に記述） ②事務事故分析用紙1（時系列に記述） ③事務事故分析用紙2（事実の記述） ④事務事故分析用紙3（結果と対策）	
	車両事故防止	①車両事故報告書 ②事故処理経過（別紙） ③自己・事故分析シート ④事故処理の経過・結果報告	
ハラスメント防止	ハラスメント対応書 ハラスメント説明書 ハラスメント防止宣言文 ハラスメント対応フロー	①ハラスメント報告書 ②ハラスメント警告文 ③契約破棄通告文	・特設委員会（事業所の長の会議）中心に運営 ・毎月、結果を報告（情報の共有化）

\*各事業所とも、(朝・夕)のミーティング等で、発生の有無について確認。報告し易くする。

表 2 苦情の対応事例

申し出内容	事実確認結果	対応内容	結果・解決日
リハビリがやっていることが分からないと妻からお話があった。リハビリが行うことを紙に書いてテーブルに置いて行って欲しいと要望があった。	リハビリスタッフ内で話し合い ・基本的には担当者が作成したメニュー表に従ってリハビリを実施しているが、実際の移乗の際の介助の仕方や筋力トレーニングのやり方はスタッフ間で違いがあった可能性はある。(徒手的に抵抗運動を行う、声かけにて一緒に運動を行う等) ・リハビリ内容は、計画書・実施記録に記載しているが、関節可動域練習、筋力トレーニング、等と表記していただけであった。	スタッフ間で情報を共有し、月1回提出している家族用計画書にリハビリメニューの詳細を記入するようにすると伝えた。	同日解決
いろいろな方が介入しているので、やっていることが違うこともあると思う。ある方は体に触ってくれるけど、ある方は腕を組んでみているだけといったことがあるようだ。		分析結果 ①手順書に従ってリハを実施しているが、「筋力トレーニング」等、記載が大雑把でありスタッフ間で統一した関わりができていなかったと思われる ②家族用計画書の表記方法では、具体的な実施内容がわかりにくかった。	再発防止策 ①→手順書の表記方法の見直しを行い、統一して関われるよう具体的にやり方を表記する ②→紙に書いてテーブルに置いてくる要望については、現在使用している家族用計画書にリハ内容を家族にわかりやすい表記にする。家族への説明・同意をもらう際、内容について説明・確認する。

れは一例ですから、あくまで参考に、あなたの職場でできることを検討してください。

- ①事業所ごとに、毎日の（朝・夕）ミーティングで「苦情、ヒヤリハット・事故、ハラスメントの有無」について確認（リーダーからの声かけ）。
- ②苦情については、半期ごとに「苦情解決制度における第三者委員との懇談会」を開催し、実績報告および質疑応答、第三者からの助言・指導を拝聴。資料を紙面で情報公開・共有化（法人内への情報公開はイントラネットに実績を掲載）。
- ③ヒヤリハット・事故については、全事業所出席のもと月1回「事故防止委員会」を開催し、実績報告および質疑応答を実施。その資料を月1回紙面で配布、同時に法人内イントラネットに掲載。
- ④ハラスメントについては、月2回開催の事業所の長の会議で報告。

### 取り組み結果

さて、リスクマネジメント施策に取り組んだ結果、私の職場ではどうなったのでしょうか。職員および職場におけるリスクマネジメントの効果の実例として、私の職場での結果を以下に示します。

- ①感情面における（リスク≒嫌な事、負の感情）という構図は残しつつ、リスクに対して速やかに対応することが日常業務化されるようになり、その対応の積み重

ねが、サービスの質向上や事故の発生防止、二次的トラブルへの発展防止へとつながった。

- ②情報を公開することで、他の職場の現状や対応方法を知ることができ、各職場の対応方法も向上した。
- ③苦情は職員が気づかない点を教えてくれる利用者等からの声、ヒヤリハットは事故になる前の警報。この声に職場全体で取り組むという作業を繰り返し行っていくことが組織マネジメントの一つの核になることを実感した。
- ④利用者等からハラスメントも含め、苦情や事故からも職員を守ることができる体制整備となった。

### 苦情、事故、ハラスメントへの対応事例を紹介

最後に参考として、私の職場で実際にあった苦情、事故、ハラスメントの対応事例を紹介します。表2は苦情の対応事例です。申出者はケアマネジャーで、訪問看護ステーションの利用者から寄せられた要望的な苦情です。表3はヒヤリハットの対応事例で、私の職場の介護福祉本部で定めたレベル3の介護事故（当該行為等を原因として、利用者に変化が生じ、新たな治療や処置、介護が必要となった場合）につながる恐れのあるものです。表4は、カスハラでありセクハラであった事例です。利用者の住まいに訪問看護で訪れた際にスタッフが受けたハラスメントです。それぞれ、あなたの職場での苦情、事故、ハラスメントの対応を記録する際の参考にしてください。

表3 ヒヤリハットの対応事例

事故の内容	事故処理・対応	結果
利用者概要：〇才、女性、右片麻痺、失語症、精神的に不安定な面あり 軽自動車朝の送迎中。〇〇交差点を左折する際、後ろで「ドン」という音がした。確認すると、後部座席に座った利用者のシートベルトが外れ、右側に尻もちをついた。 安全な所に駐車し、身体状況を確認。立ち上がったため車椅子席に移動してもらい、事業所に到着。到着後全身状態を確認	→右腰部にうっすらと発赤と線状に一本発赤。右肘表皮剥離（10 mm）あり。出血なし。痛みの有無や増長の有無について聞くと「わからない」との返答あり →驚いたこと、疲れた様子あり→ベッドへ臥床 精神的動揺あり。泣き顔。 9:50、夫に電話で報告・謝罪 精神的動揺も続いているため再度夫に報告。 夕方夫に電話で状態を確認 8月10再度電話で確認	10:55、夫迎えに来る。落ち着いた様子。笑顔あり 体は大丈夫。気持ちも落ち着いたとのこと 特に変わりなしとのこと
原因分析	再発防止策	
シートベルトが十分に装着されておらず、左折時に座席から側方に転落。 シートベルトがはまっていたとしても、座位不安定な方は転落に近い状況は起こりうると思われる。	・後部座席は、座位保持能力に大きな問題がない利用者の方に限定する。 ・シートベルト着用時の確認を徹底する ・ハード面の検討（座席のオプション等の手すり設置、車両の変更）	

表4 カスタマーハラスメントの対応事例

誰から	種別	内容(どのような)	受けた傷
<input type="checkbox"/> 利用者本人 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者家族（続柄：夫） <input type="checkbox"/> その他（ ） 性別：■男性、□女性 年齢：(70)代	<input type="checkbox"/> 身体的暴力 <input type="checkbox"/> 精神的暴力 <input checked="" type="checkbox"/> 性的嫌がらせ <input type="checkbox"/> その他	これが好きなんだと、アダルトビデオをケア中に流された	<input type="checkbox"/> 身体的外傷（傷、痣、打撲など） <input checked="" type="checkbox"/> 心理的外傷（強いショックなど） <input type="checkbox"/> その他（ ） 治癒・寛解するまでの期間 (約1週間)

まとめ

リスクマネジメントは、誰のために、何のためにするのでしょうか。

1つは、職場や職員を守るため。2つは、提供するサービス（商品）の質を保証・向上することで利用者を守り、信頼を得るため。3つに、利用者や地域住民からの信頼を得ることで法人を守るためです。

冒頭にも述べましたように、「リスク≒危険」、「避けて通

りたくないもの」というイメージはそうそう変わらないし、なくならないと思います。発生数を減らしたい、事実には蓋をしたい、できるだけ目を塞ぎたい……という気持ちもわかります。しかし、“放置”は、リスクという負のエネルギーを充満させ、いつか、職員の大量退職、事故の続発、利用者的大幅減少となって現れます。勇気をもって、みんなでリスクマネジメントに取り組んで参りましょう！

●読者の皆さんへ

本連載は、前半6回は「組織マネジメントの概論」について、後半6回はQ & A形式で、読者の皆さんの組織運営上の疑問や悩みにお応えするかたちで進める予定です。現在お勤めの職場で直面している疑問や悩みを、本誌お問合せメールアドレス (kikanshi@jaot.or.jp) まで是非お寄せください。

※すべてのお悩みを採用、回答できるとは限らないことを予めご了承ください。



## 第 60 回作業療法士国家試験問題について（報告）

教育部教育情報課国家試験問題指針検討班は、2025 年 2 月 24 日に実施された第 60 回作業療法士国家試験について、昨年度に引き続いて全国の作業療法士学校養成施設に対して表記に関するアンケート調査を実施した。その結果、208 校（217 課程）中 119 校 57%から回答があり、「適切でないと思われる」と指摘された問題数は 49 問題（午前 24 問題、午後 25 問題）であった。

本検討班は、昨年と同様の以下に示す基準に則り、これらの問題について検討を行った。

1. 本検討班の役割は、国家試験問題の内容に限り、回答校から寄せられた「適切でないと思われる問題」について検討するものであり、国家試験問題の範囲や難易度について検討するものではないこと。
2. 問題の出題形式（図や設問の説明）や問題の妥当（科学）性に対する意見は「第 60 回作業療法士国家試験問題について（意見）」にまとめる。なお、特に再検討を要望する問題については、その内容を記載し、併せて具体的な理由を述べる。

検討の結果、4 問題（午前 25 午後 10、27、53）について「複数の選択肢を正解とすることが望ましいと思われる問題」、また 1 問題（午後 6）について「提示された選択肢からは解を選択する判断ができない」（資料 1-1 ～ 1-5）としてとりまとめ、今後の国家試験問題の妥当性改善のために、厚生労働省に意見書として提出した。

なお、回答を寄せていただいた学校養成施設名（資料 2）を添付する。

## 資料 1

2025 年 3 月 3 日

厚生労働省 医政局 医事課  
試験免許室 御中

一般社団法人 日本作業療法士協会  
会 長 山 本 伸 一

### 第 60 回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会への活動にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、2月24日に実施されました第60回作業療法士国家試験問題につきまして全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、208校(217課程)中119校57%から「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- (1) 全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- (2) 当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- (3) 国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい5問題（午前1問題、午後4問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記いたしました。

ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

#### 記

I 複数の解が選択できると思われる4問題（午前25、午後10、27、53）について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える。また、提示された選択肢からは解を選択する判断ができないと思われる1問題（午後6）について、採点から除外することが望ましいと考える（別添資料1-1～1-5参照）。

#### II その他の意見

用語や設問の表現が不適切であり選択肢の理解に戸惑う3問題（午後23、54、83）、消去法や優先順位等から解は選べるものの該当すると言い切れない4問題（午前96、午後4、30、98）、消去法や優先順位等から解は選べるものの他の選択肢も該当する可能性がある2問題（午後45、51）があると考え。尚、午後問題別冊の図（No.5）に脱字が認められたので確認をお願いいたします。

第 60 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和 7 年 2 月 24 日実施)

午前 問題	問題番号 (25)
<p>25 二次予防はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 高齢者の骨折予防指導</li><li>2. 健康高齢者への運動指導</li><li>3. 糖尿病患者への食事指導</li><li>4. リウマチ患者への生活指導</li><li>5. インフルエンザワクチン接種</li></ol> <p>解：1、3、4（複数の解が選択できる）</p>	
<p>理由</p> <p>選択肢「2」と「5」は、一次予防である。</p> <p>厚生労働省 HP（文献 1）に「生活習慣病予防の二次予防は疾病の早期発見、早期治療である。介護予防の二次予防は生活機能の低下の早期発見・早期対応である」とあり、選択肢「1」と「3」、「4」は二次予防である。</p> <p>選択肢「1」について、高齢者は骨折のリスクが高いため、高齢者の骨折予防指導は二次予防に該当する。</p> <p>選択肢「3」について、厚生労働省 HP（文献 2）の、糖尿病の二次予防の項において「二次予防の目的は、糖尿病検診によって、糖尿病あるいはその疑いのあるものを見逃すことなく検出し早期に治療を開始することである。（中略）糖尿病検診の目標としては、40 歳以上（ハイリスク者については若年者も）の糖尿病に関する健康診断の受診者を増加し、異常所見者に対しては事後指導を徹底するべきである」と記載があり、糖尿病患者への食事指導は二次予防にあたる。</p> <p>選択肢「4」について、介護予防の二次予防は生活機能の低下の早期発見・早期対応であり、要支援状態となることを遅らせる取り組みである。リウマチ患者への生活指導を早期に行うことで、生活機能を低下させる二次障害を予防することができるため、リウマチ患者への生活指導は二次予防にも該当する。</p> <p>したがって、選択肢「1」、「3」、「4」の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 厚生労働省ホームページ（介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル） <a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/dl/tp0501-1c_0002.pdf">https://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/dl/tp0501-1c_0002.pdf</a></li><li>2. 厚生労働省ホームページ（健康日本 21） <a href="https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b7.html">https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b7.html</a></li></ol>	

第 60 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和 7 年 2 月 24 日実施)

午後 問題	問題番号 (10)
-------	-----------

10 71 歳の男性。令和 6 年 8 月 19 日 (月) に病院で認知症の検査を受けた。結果 (別冊 No.5) を別に示す。  
疑われる認知症の重症度はどれか。

No. 5 (O 問題 10)

1. 認知症なし
2. 軽度認知症
3. 中等度認知症
4. 重度認知症
5. 最重度認知症

1	お歳はいくつですか? (2年までの誤差は正解)	69才	0 1
2	今日は何年何月何日ですか? 何曜日ですか? (年・月・日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	6年 8月 19日 月曜日	0 1 0 1 0 1 0 1
3	私たちが今いるところはどこですか? (自発的に出れば2点、5秒おいて家ですか? 病院ですか? 施設ですか? のなかから正しい選択をすれば1点)	自宅から病院	0 1 2
4	これから言う3つの言葉を書いてみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1: a) 板 b) 猫 c) 電車 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車	3つOK	0 1 0 1 0 1
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は?、それからまた7を引くと? と算出する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	93 (93) 85 (86)	0 1 0 1
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2、3-5-29を逆に乗ってもらう、3桁逆順に失敗したら打ち切る)	2-8-6 OK 9-2-5-3 X	0 1 0 1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度書いてみてください。 (自発的に回答があれば、各2点。もし回答がない場合は以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物 d) OK, b) ヒント屋でOK, c) ヒント屋でX		a : 0 1 2 b : 0 1 2 c : 0 1 2
8	これから5つの品物を見せます。それを見ますのでなにかあったか書いてください。 (時計、鍵、タバコ、硬貨など必ず相互に無関係なもの)	時計、鍵、X、X、X	0 1 2 3 4 5
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く書いてください。 (書いた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒間待っても答えられない場合はそこで打ち切る) 0=5点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点	白菜、人参、アスパラ	0 1 2 3 4 5
合計得点:			

解: 2, 3 (複数の解が選択できる)

理由

文献 1 の重症度別平均得点によると選択肢 「2」 の軽度認知症は 19.10 ± 5.04、選択肢 「3」 の中等度認知症は 15.43 ± 3.68 と示されている。問題 10 別冊 No.5 の合計点数は 19 点であり、選択肢 「2」 と選択肢 「3」 の双方に含まれる。

したがって、選択肢 「2」, 「3」 の複数の解が選択できる。

文献 2 では、「長谷川式簡易知能評価スケールは、認知症のスクリーニング検査の 1 つであり、カットオフ値が 20/21 であり、20 点以下を認知症の疑いとされるが、点数のみで認知症と判断されるべきではない」とある。長谷川式簡易知能評価スケールは重症度分類を目的としない。

また、別冊 No.5 の項目 6 に脱字があり、「3-5-2-9」と表記すべきところが「3-5-29」と記載されている。

参考とする文献

1. 守口恭子: 高齢期における認知症のある人の生活と作業療法 第 2 版. 三輪書店. p.109, 2017.
2. 松房利憲監修: 高齢期作業療法学 第 4 版. 医学書院. p.143, 2024.

第 60 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和 7 年 2 月 24 日実施)

午後 問題	問題番号 (27)
<p>27 MTDLP でインテーク面接が終了し、対象者の望む生活の把握ができた。 次の段階で用いるのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 生活行為申し送り表</li><li>2. 生活行為課題分析シート</li><li>3. 生活行為聞き取りシート</li><li>4. 興味・関心チェックシート</li><li>5. 生活行為向上マネジメントシート</li></ol> <p>解：2、5（複数の解が選択できる）</p>	
<p>理由</p> <p>文献 1、2 より、インテーク面接終了後のアセスメントでは、選択肢「2」の生活行為課題分析シートと生活行為アセスメント演習シートを使用すると記載されている。</p> <p>また、文献 2 には、「プロセスが理解でき、日々の臨床で用いる場合には、基本ツールの 3 つのシート（生活行為聞き取りシート、生活行為アセスメント演習シート、生活行為向上プラン演習シート）をまとめた生活行為向上マネジメントシートを使う」と記載されている。</p> <p>したがって、選択肢「2」、「5」の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 竹内さをり，他：作業療法マニュアル 75 生活行為向上マネジメント 改訂第 4 版．一般社団法人日本作業療法士協会．p.19，2022.</li><li>2. 一般社団法人日本作業療法士協会編著：事例で学ぶ 生活行為向上マネジメント 第 2 版．医歯薬出版．pp.39-77，2021.</li></ol>	

第 60 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和 7 年 2 月 24 日実施)

午後 問題	問題番号 (53)
<p>53 味覚を支配する脳神経はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 三叉神経</li><li>2. 舌咽神経</li><li>3. 迷走神経</li><li>4. 副神経</li><li>5. 舌下神経</li></ol> <p>解：2、3（複数の解が選択できる）</p>	
<p>理由</p> <p>味覚の感覚器は味蕾であり、舌の前 3 分の 2 の部分は顔面神経、舌の後ろ 3 分の 1 の部分は舌咽神経に支配されているため、選択肢「2」が選択できる。喉頭蓋と口蓋に存在する味蕾は迷走神経に支配されており、選択肢「3」も選択できる。</p> <p>したがって、選択肢「2」と「3」の複数の解が選択できる。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. Paul A.Young, Daniel L.Tolbert：臨床のための脳と神経の解剖学. メディカル・サイエンス・インターナショナル. p.193, 2019.</li></ol>	

第 60 回作業療法士国家試験問題 採点除外等の取り扱いをすることが望ましいと思われる問題

(令和 7 年 2 月 24 日実施)

午後 問題

問題番号 (6)

6 52 歳の男性。右利き。脳梗塞による右片麻痺。発症後 14 日目に回復期リハビリテーション病棟へ転棟した。意識は清明で、認知機能に問題はない。Brunnstrom 法ステージ上肢Ⅲ、手指Ⅲ、下肢Ⅴ。疼痛や浮腫はない。機能回復を目的とした作業療法を図に示す。

現時点でこの患者の右上肢に行う訓練で最も適切なのはどれか。



解：なし

理由

文献 1、2 によれば、Brunnstrom 法ステージ上肢Ⅲは、「基本的共同運動またはその要素を随意的に起こしうる。痙縮は強くなり、最強となる」、手指Ⅲは、「指の集団屈曲が可能、鉤型握りをするが、離すことはできない。指伸展は随意的にはできないが、反射による伸展は可能なこともある」とされており分離運動が出現していない時期である。

選択肢「1」「2」「3」「5」は、上肢の肩屈曲と肘伸展の分離運動と手指の随意的な伸展運動が必要となる。

選択肢「4」は、上肢の肩伸展と肘屈曲の分離運動と手指の随意的な伸展運動が必要となる。

選択肢「1」から「5」すべて共同運動から分離した上肢の屈曲・伸展運動、手指の伸展運動が必要となるため、現時点でこの患者に行う訓練としてはすべて不適切である。

したがって、提示された選択肢からは解を選択することはできない。

参考とする文献

1. 能登真一, 山口昇, 玉垣努, 新宮尚人, 加藤寿宏, 勝山しおり編集: 標準作業療法学専門分野 作業療法評価学. 医学書院, p.259, 2024.
2. 長崎重信監修, 佐竹勝編集: 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 3 作業療法評価学. メジカルビュー社. pp.107-108, 2012.

## 資料 2

### 第 60 回作業療法士国家試験 アンケート協力校一覧

養成校名	養成校名
1 北海道大学医学部保健学科作業療法学専攻	61 愛知医療学院短期大学リハビリテーション学科作業療法学専攻
2 札幌医療リハビリテーション専門学校作業療法学科	62 名古屋医専療法学部作業療法学科
3 札幌医学技術福祉歯科専門学校作業療法士科	63 中部大学生命健康科学部作業療法学科
4 北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	64 鈴鹿医療科学大学リハビリテーション学科作業療法学専攻
5 函館市医師会看護・リハビリテーション学院作業療法学科	65 びわこリハビリテーション専門職大学
6 弘前大学医学部保健学科作業療法学専攻	66 京都大学医学部人間健康科学科作業療法学専攻
7 東北メディカル学院作業療法学科	67 佛教大学保健医療技術学部作業療法学科
8 弘前医療福祉大学保健学部医療技術学科作業療法学専攻	68 京都医健専門学校
9 岩手リハビリテーション学院作業療法学科	69 京都橋大学
10 東北化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	70 大阪公立大学医学部リハビリテーション学科
11 東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	71 阪奈中央リハビリテーション専門学校
12 東北保健医療専門学校作業療法科	72 箕面学園福祉保育専門学校
13 郡山健康科学専門学校作業療法学科	73 大阪医療福祉専門学校(昼・夜間部)
14 医療創生大学健康医療科学部作業療法学科	74 藍野大学医療保健学部作業療法学科
15 福島県立医科大学保健科学部作業療法学科	75 四條畷学園大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
16 アール医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科	76 大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
17 国際医療福祉大学保健医療学部作業療法学科	77 大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
18 マロニエ医療福祉専門学校作業療法学科	78 関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
19 群馬大学医学部保健学科作業療法学専攻	79 大阪リハビリテーション専門学校
20 前橋医療福祉専門学校作業療法学科	80 森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部作業療法学科
21 群馬パース大学リハビリテーション学部作業療法学科	81 関西医療大学
22 埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科	82 大阪人間科学大学
23 目白大学保健医療学部作業療法学科	83 関西医科大学リハビリテーション学部
24 文京学院大学保健医療技術学部作業療法学科	84 神戸大学医学部保健学科作業療法学専攻
25 上尾中央医療専門学校作業療法学科	85 神戸総合医療専門学校
26 日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	86 関西総合リハビリテーション専門学校
27 千葉・柏リハビリテーション学院作業療法学科	87 平成リハビリテーション専門学校
28 八千代リハビリテーション学院作業療法学科	88 姫路獨協大学医療保健学部作業療法学科
29 千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法専攻	89 兵庫医科大学リハビリテーション学部作業療法学科
30 国際医療福祉大学成田保健医療学部作業療法学科	90 関西学研医療福祉学院
31 植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	91 奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
32 東京都立大学健康福祉部作業療法学科	92 宝塚医療大学和歌山保健医療学部
33 多摩リハビリテーション学院専門学校作業療法学科	93 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科
34 東京福祉専門学校作業療法士科	94 YMCA 米子医療福祉専門学校
35 帝京平成大学健康メディカル学部作業療法学科	95 松江総合医療専門学校
36 彰栄リハビリテーション専門学校作業療法学科	96 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科
37 東京工科大学医療保健学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	97 県立広島大学保健福祉学部作業療法学科
38 杏林大学保健学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	98 広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻
39 東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	99 山口コ・メディカル学院
40 東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科	100 専門学校 YIC リハビリテーション大学校
41 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	101 専門学校健祥会学園
42 昭和大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	102 四国医療専門学校
43 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校作業療法学科	103 専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ
44 横浜リハビリテーション専門学校作業療法学科	104 愛媛十全医療学院
45 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科	105 土佐リハビリテーションカレッジ
46 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科	106 柳川リハビリテーション学院
47 晴陵リハビリテーション学院作業療法学科	107 国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科
48 富山リハビリテーション医療福祉大学校作業療法科	108 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科
49 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー作業療法学科	109 九州医療スポーツ専門学校
50 福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	110 医療福祉専門学校 緑生館
51 健康科学大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	111 熊本総合医療リハビリテーション学院
52 信州大学医学部保健学科作業療法学専攻	112 九州中央リハビリテーション学院
53 岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科	113 熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科生活機能療法学専攻
54 静岡医療科学専門学校校作業療法学科	114 熊本駅前看護リハビリテーション学院
55 専門学校富士リハビリテーション大学校作業療法学科	115 大分リハビリテーション専門学校
56 国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院作業療法学科	116 鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻
57 星城大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	117 鹿児島医療技術専門学校
58 藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科先進作業療法コース	118 鹿児島第一医療リハビリ専門学校
59 あいち福祉医療専門学校作業療法学科	119 琉球リハビリテーション学院(昼間部)
60 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	

アンケート協力 119 校



## 一般財団法人日本公衆衛生協会委託事業 令和6年度地域保健総合推進事業 「都道府県理学療法士会・都道府県作業療法士会における地域・職域での予防・健康づくりを 目的とした保健活動を推進するための研修の開催および伴走支援のあり方に関する検討事業」

2022年度より働き盛り世代の健康づくりに着目し、都道府県理学療法士会（以下、PT士会）・作業療法士会（以下、OT士会）が各地域で活動する基盤づくりと事業推進の取り組みを行ってきました。

都道府県士会のなかで働き盛り世代への事業を検討する機会は増えてきましたが、事業実施までに至らないことが課題となっており、2024年度は事業実施推進のための支援方法を検討すること、その経過報告および事業に関する情報提供を行う研修会を実施しました。

### ①研修会

2024年10月5日（土）にPT士会・OT士会の関係部局の担当者を対象とした、「都道府県理学療法士会・作業療法士会において、関係機関と連携した地域・職域での予防・健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修」を開催しました。参加者は理学療法士23名、作業療法士31名でした。午前中は、国や保健師から期待されていることについての講演と、モデルチームの活動および伴走支援の経過報告を行い、午後は、グループワークにて各士会の状況や課題共有、事業へ寄与するまでの進め方をまとめました。

### ②伴走支援のあり方検討

#### 1) モデルチームへの伴走支援

山口県理学療法士会と茨城県作業療法士会にご協力をいただき、モデルチームを2チーム構成し、士会内で事業（山口PT士会：企業内の腰痛予防への取り組み、茨城OT士会：企業内のメンタルヘルス不調への対応）を推進することを目的に伴走支援を行いました。

実際の支援では、①活動の到達目標の設定や活動遂行の後押し、②モデルチームが抱えている不安やその要因を把握、③活用できそうな情報提供、④活動の組み立てに関する考え方について助言、⑤活動に対する肯定的な評価、⑥活動展開における工夫や実現可能性検討等を行いました。

#### 2) あり方の検討

既存の伴走支援のあり方を示す指針が見つからないことから、まずはチームの活動手順を5項目に整理し、伴走支援の姿を想定しました。その作業手順に沿って、チーム会議や合同進捗会議

にて、モデルチームへ支援を実施し、会議ごとに伴走者自身による評価（自己評価）と被支援者による評価（他者評価）を通じて伴走支援のあり方を探りました。

結果、モデルチームからは高い評価を得るとともに、士会内での事業実施の推進に寄与することができました。

研修会参加者のアンケートからは、働き盛り世代への健康づくりに関する事業の開始にあたり、状況提供と先行事例の紹介、課題整理を行う研修会の満足度は高く、事業開始を検討する機会となりました。今年度事業では、標準的な伴走支援を精緻化するとともに、全国に取り組みが広がるよう推進していく予定です。

### 【パンフレットの紹介】

関係者の方々にご理解いただくためのパンフレットとして、令和5年度事業で作成した手引き「自治体または企業における成人の健康づくりと理学療法士・作業療法士」に、「理学療法士と作業療法士の役割」「リハビリテーション専門職の強み」「伴走支援事業の紹介」を追加して作成しました。



写真1 パンフレット「自治体または企業における成人の健康づくりと理学療法士・作業療法士」



写真 2 追加ページ「理学療法士と作業療法士の役割」



写真 3 追加ページ「リハビリテーション専門職の強み」「伴走支援事業の紹介」



●令和6年度事業報告書はこちら



●「自治体または企業における成人の健康づくりに寄与するための手引き」はこちら



●「自治体または企業における成人の健康づくりと理学療法士・作業療法士」はこちら

## お知らせ

### 「2025 年度定時社員総会 速報」について

例年、6月号に定時社員総会の模様をお伝える「速報」を掲載しておりますが、今年度は本号に速報を掲載せず、協会ホームページに「速報」を掲載いたしましたのでそちらをご覧ください。機関誌には次号に詳細と議事録を掲載いたします。

定時社員総会は、定款第16条にて「社員総会は、定時社員総会として毎事業年度の終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。」と定められており、毎年5月の最終土曜日に開催しています。今年度は5月31日が最終土曜日に当たるため、この日に開催いたしました。本号の印刷スケジュール上、掲載がどうしても間に合わないため、「速報」の掲載を見送らせていただいた次第です。ご了承いただけますと幸いです。

### 訃報連絡

謹んでお悔やみ申し上げます。

会員番号 43758  
会員番号 41653  
会員番号 11930

林 あさ子 (岐阜県)  
近藤 繁 (福岡県)  
富田 尊子 (熊本県)

2025年4月11日逝去  
2025年5月13日逝去  
2025年5月19日逝去

## 求人広告のお申込と出稿の方法

### ◆求人広告掲載のお申込は協会事務局まで

施設名、ご担当者名、住所、電話番号、Eメールアドレス、希望の作成パターン(A・Bよりお選びください)を記載のうえ、Eメールにて協会事務局(kikanshi@jaot.or.jp)までお申し込みください。希望掲載号発行月の前々月末が申込締切となります。

#### A. 基本デザイン作成パターン

(費用=版下作製費0円+広告掲載料13,000円)

①~③の基本フォームからお好きなデザインを選択していただき、掲載情報のみご提供いただきます。文字

内容の変更は受け付けますが、デザインの変更はできません。

#### B. オリジナル版下支給パターン

(費用=版下作製費0円+広告掲載料13,000円)

指定する要領(幅82mm×高さ122mm)で完全版下をご提供いただいた場合も、版下作製費は発生いたしません。

※複数月掲載の際、デザイン変更を希望され、作業が発生した場合は別途版下代をいただく場合がありますのでご注意ください。また、オリジナルデザインでの版下作製も受け付けておりますので、ご相談ください。

### ① 作業療法士募集

有資格・新卒 募集人員:●名

待遇:年1回 退職金:勤続5年以上

通勤:住宅、扶養手当あり

健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険

勤務時間:①00:00~00:00(日勤)

②00:00~00:00(遅番)

休暇:4周8休制

有給休暇(年〇日・初年度△日)

夏季休暇・育児休暇・介護休暇

施設概要:100床

PTO名、OT△名、STO名

応募方法:まずは電話もしくはメールにてお問い合わせください

交通:JR山手線〇〇駅

徒歩5分

(無料送迎バスあり)

職員駐車場有

医療法人社団●●会

△△△△病院

〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル

TEL 03-5826-7871 FAX 03-5826-7872

担当:●●●●●●●●

http://www.●●●●●●●●.or.jp/

### ② 作業療法士募集

施設の概要、エリア、その他情報等ご入力ください

○募集人員:常勤△名

非常勤〇名

○応募資格:作業療法士有資格者(経験〇年以上)

○勤務時間:8:45~17:45(昼間部)

14:00~23:00(夜間部)

○休日:週休2日制

日・祝祭日・夏季休暇等あり

○待遇:健康保険・厚生年金・雇用保険

○応募方法:電話連絡の上、随時面接致します

医療法人△△△△△△△△

〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9

TEL:03-5826-7871 FAX 03-5826-7872

担当:●●

### ③ 新規事業所開設につき増員します

■募集職種/作業療法士 〇名

■応募資格 経験者(有資格者)

新卒者(平成〇年3月卒業見込みの方)

■雇用形態 ①常勤 ②非常勤

■業務内容 訪問看護ステーションからの訪問リハビリ業務

■勤務時間 ①00:00~00:00(日勤)

②00:00~00:00(遅番)

■休日 日/4周8休制

有給休暇(年〇日・初年度△日)

夏季休暇・育児休暇・介護休暇・その他特別休暇

■給与 与 〇〇〇,〇〇〇円~ 経験者は基本給に加工あり

■賞与 年2回(6月・12月)、計5.2ヶ月(昨年度実績)

■待遇/昇給:年1回 退職金:勤続5年以上

通勤、住宅、扶養手当あり

健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険

■勤務地 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇

〇〇〇〇〇〇事業所

急性期、回復期から在宅まで、地域密着型のリハビリテーション

サービスを展開しています。研修・教育制度も充実しており、若い意欲あるスタッフが多数はたらくております。〇月、市内中央に新規開設事業所のオープニングスタッフを募集します。

●まずは電話もしくはメールにてお問い合わせください

●見学随時

医療法人 〇〇会 〇〇〇病院グループ

〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル

TEL (03) 5826-7871 FAX (03) 5826-7872

担当:〇〇課〇〇 E-mail 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇.jp

URL http://www.〇〇〇〇〇〇〇〇.or.jp



# 2025年度 協会研修会のご案内

・開催が決定しているもの、調整中のものを下記に記載いたします。状況により変更があることもご承知おきください。

・必ず、最新情報・お申込みにあたっての注意事項について協会ホームページの研修会ページ (<https://www.jaot.or.jp/kenshuukai/>) にご確認ください。

・研修会の申し込みは、当該年度会費の納入後に行っていただきますようお願い致します。

・\*は新規掲載、もしくは情報が更新されたものです。



▲研修会ページ

## 認定作業療法士取得研修 共通研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

講座名	日程 (予定を含む)	定員数
管理運営②	2025年8月23日(土)~24日(日)	40名
管理運営③	2025年9月27日(土)~28日(日)	40名
管理運営④	2025年10月25日(土)~26日(日)	40名
管理運営⑤	2025年11月29日(土)~30日(日)	40名
管理運営⑥	2025年12月27日(土)~28日(日)	40名
管理運営⑦	2026年1月17日(土)~18日(日)	40名
管理運営⑧	2026年1月24日(土)~25日(日)	40名
研究法③	2025年9月13日(土)~14日(日)	35名
研究法④	2025年10月11日(土)~12日(日)	35名
研究法⑤	2025年11月15日(土)~16日(日)	35名
研究法⑥	2025年12月13日(土)~14日(日)	35名
研究法⑦	2026年1月10日(土)~11日(日)	35名

## 認定作業療法士取得研修 選択研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

講座名	日程 (予定を含む)	定員数
身体障害の作業療法③	2025年8月23日(土)~24日(日)	40名
身体障害の作業療法④	2025年9月6日(土)~7日(日)	40名
身体障害の作業療法⑤	2025年10月18日(土)~19日(日)	40名
身体障害の作業療法⑥	2025年11月1日(土)~2日(日)	40名
身体障害の作業療法⑦	2026年1月10日(土)~11日(日)	40名
老年期障害の作業療法②	2025年8月30日(土)~31日(日)	40名
老年期障害の作業療法③	2025年10月4日(土)~5日(日)	40名
老年期障害の作業療法④	2025年12月20日(土)~21日(日)	40名
精神障害の作業療法②	2025年12月13日(土)~14日(日)	40名
発達障害の作業療法①	調整中	40名
発達障害の作業療法②	2025年12月13日(土)~14日(日)	40名

### 専門作業療法士取得研修

基礎研修：受講要件はありません。臨床経験や認定取得状況にかかわらず、入会后臨床1年目から受講可能です（高次脳機能障害は除く）。

講座名	日程(予定を含む)	定員数
就労支援基礎Ⅴ	2025年10月18日(土)～19日(日)	50名
就労支援基礎Ⅰ	2025年12月20日(土)～21日(日)	50名
精神科急性期応用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2026年1月10日(土)～11日(日)	10名
* がん応用Ⅲ	2025年10月11日(土)～12日(日)	調整中
特別支援教育基礎Ⅱ-2	調整中	調整中
特別支援教育応用Ⅱ・Ⅲ	調整中	調整中

### 養成教育関連研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

講座名	日程(予定を含む)	定員数
臨床実習指導者実践研修会①	調整中	60名
臨床実習指導者実践研修会②	調整中	60名
臨床実習指導者実践研修会③	調整中	60名

### 作業療法重点課題研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

講座名	日程(予定を含む)	定員数
日本パラスポーツ協会公認 中級パラスポーツ指導員養成講習会	座学(Web) 2025年9月13日(土)～14日(日) 実技(対面) 2025年11月29日(土)～30日(日)	40名 (予定)
5歳児健診への作業療法士参画のための研修会①	調整中	調整中
5歳児健診への作業療法士参画のための研修会②	調整中	調整中
介護報酬改定対応 通所リハ・訪問リハ従事者研修	調整中	調整中
認知症のリハビリテーション(実践プロトコル) 研修会	調整中	調整中
* 日本と台湾の災害支援における作業療法(士)の役割	2025年9月28日(日)	100名
DAA(デジタルアクセシビリティアドバイザー) 育成支援研修会	調整中	調整中
支援機器開発人材育成研修会	調整中	調整中
運転と地域移動支援①	2025年10月18日(土)～19日(日)	80名
運転と地域移動支援②	2025年2月14日(土)～15日(日)	80名
生きづらさのあるひとに対する作業療法	調整中	調整中

### 認定作業療法士研修会

講座名	日程(予定を含む)	定員数
ステップアップ研修(マネジメント)	2025年8月30日(土)～31日(日)	20名

## eラーニング講座

eラーニングシステムを使用します。各講座の申込期間について、詳しくは会員ポータルサイトをご確認ください。  
※eラーニング講座に定員はありません。

講座名	日程(予定を含む)	申込締め切り
* 専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅰ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅱ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(高次脳機能障害)取得研修 基礎Ⅳ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅰ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅱ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅲ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅳ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(訪問)取得研修 基礎Ⅰ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅰ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅱ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅲ-1	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(特別支援教育)取得研修 基礎Ⅱ-1	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 専門作業療法士(脳血管障害)取得研修 基礎Ⅱ	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* がん・非がんの緩和ケア ～作業療法実践に必要な緩和ケアの知識～	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 英語での学会発表 抄録・ポスター・スライド作成はじめて講座	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 地域ケア会議に資する人材育成研修	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 自動車運転と作業療法	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)
* 子育て・介護を担う女性作業療法士の働き方	2025年8月1日(金)～2025年9月30日(火)	7月5日(土)

## 2025 年度 臨床実習指導者講習会一覧

臨床実習指導者講習会			
主催県士会	日程	定員	詳細・問い合わせ先
* 山形県	2025年6月21日(土)~6月22日(日)	50名	詳細は、各都道府県作業療法士会ホームページをご参照ください。
	2025年10月4日(土)~10月5日(日)	50名	
* 熊本県	2025年7月12日(土)~7月13日(日)	80名	
* 大分県	2025年7月12日(土)~7月13日(日)	50名	
* 岩手県	2025年7月19日(土)~7月20日(日)	50名	
	2025年11月29日(土)~11月30日(日)	50名	
* 静岡県	2025年7月19日(土)~7月20日(日)	50名	
* 埼玉県	2025年7月26日(土)~7月27日(日)	100名	
* 千葉県	2025年8月2日(土)~8月3日(日)	40名	
* 栃木県	2025年8月9日(土)~8月10日(日)	60名	

## 2025 年度 都道府県作業療法士会主催 現職者選択研修一覧

現職者選択研修						
講座名	日程	主催県士会	会場	参加費	定員	詳細・問い合わせ先
身体障害	2025年7月6日(日)	山口県	Web開催	4,000円	80名	詳細は、各都道府県作業療法士会ホームページをご参照ください。
身体障害	2025年10月12日(日)・13日(月)	奈良県	Web開催	4,000円	80名	
老年期	2025年10月19日(日)	島根県	Web開催	4,000円	40名	
老年期	2025年10月26日(日)	大阪府	Web開催	4,000円	70名	
精神障害	2025年11月29日(土)	鳥取県	Web開催	4,000円	50名	
* 身体障害	2025年12月20日(土)	神奈川県	Web開催	4,000円	90名	
* 精神障害	2026年1月25日(日)	神奈川県	Web開催	4,000円	90名	

※現職者選択研修の受講には、日本作業療法士協会への入会とともに、各都道府県士会への入会も必要です。所属士会以外で受講される場合には、開催士会から所属士会へ入会状況の確認をさせていただくことがありますので、ご了承の上、お申込みください。

■ 詳細は、日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。

■ 協会主催研修会の問い合わせ先 電話：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872 E-mail：ot-kenshu@jaot.or.jp



## 催物・企画案内

### 第52回 日本バイオフィードバック学会学術総会

テーマ：障がいとの共生——人ずつ 一歩ずつ——

日 時：2025. 6/21 (土)・22 (日)

会 場：東川町東川農村環境改善センター

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://biofeedback-higashikawa.org/>

### 心理オフィス K オンラインセミナー

テーマ：社会正義の観点から考える LIEM（貧困や経済的排除）を背景に持つクライアントへの心理支援

日 時：2025. 6/29 (日) Web 開催

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://s-office-k.com>

### 第47回 国立大学リハビリテーション療法士学術大会

テーマ：リハビリテーションの来歴を知る

日 時：2025.7/12 (土)・13 (日)

会 場：旭川市大雪クリスタルホール

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://plaza.umin.ac.jp/~kokudai/congress2025/>

### 第11回 地域包括ケア病棟研究大会

テーマ：地域包括ケアを支える人材育成を目指して

日 時：2025. 7/19 (土)

会 場：日本教育会館

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://www.gakkai.co.jp/jahcc11/>

### 第9回 北関東信越ブロック学会

### 第40回 長野県作業療法学会学術大会

テーマ：温故躍進 #作業療法の未来を創る人と繋がりたい

日 時：2025.7/19 (土)・20 (日)

会 場：長野市若里市民文化ホール

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://jp7969.wordpress.com/>

### 第75回 日本病院学会

テーマ：飛翔 ポスト 2025 年

—地域生活を支える病院医療のあり方—  
西洋医学発祥の地「長崎」からの発信

日 時：2025. 7/24 (木)・25 (金)

会 場：出島メッセ長崎

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://www.c-linkage.co.jp/jha2025/>

### 一般社団法人日本ハンドセラピィ学会主催

### 2025年度第5回全国研修会

日 時：2025. 7/27 (日) Web 開催

配信 2025.8/3 (日)～9/3 (水)

お問合せ：2025年度第5回ハンドセラピィ学会全国研修会  
[hand.zenkoku@gmail.com](mailto:hand.zenkoku@gmail.com)

### 実践 CI 療法講習会 2025

日 時：2025. 8/3 (日) Web 開催

お問合せ：兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座  
[office@craseed.org](mailto:office@craseed.org)

受講料：各 8,000 円 (テキスト代・送料込み)

### 第22回 国際集団精神療法・集団過程学会

テーマ：グループと世界的危機：人、組織、社会の課題

日 時：2025. 8/20 (水)～23 (土)

会 場：札幌コンベンションセンター

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://www.iagpsapporo2025.com/>

### 第9回 ADL 評価講習会 (FIM 講習会)

日 時：2025. 8/30 (土) Web 開催

対 象：FIM 初心者の方、採点方法に疑問をお持ちの方  
定 員：300名 (募集締切 6/25 (水) 13時)

お問合せ：北海道 ADL 評価研究会事務局  
[hokkaido.adl@gmail.com](mailto:hokkaido.adl@gmail.com)

受講料：4,300 円 (テキスト代・送料込み)

#### 「催物・企画案内」の申込先

[kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp)

掲載の可、不可についてはご連絡致しませんことをご理解ください。また、2号以上の掲載はお引き受けいたしかねます。なお、原稿によっては割愛させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## 日本作業療法士連盟だより

連盟ホームページ▶<https://www.ot-renmei.jp/>



### 専門性を社会に届けるために ～制度に反映させる政治活動～



日本作業療法士連盟会長 二神 雅一

今回は、作業療法士が直面する低賃金や職域拡大の課題、そしてその打開に向けた基本方針について述べました。今回は、それを実現するために不可欠な「政治活動」の必要性と、今後の具体的な取り組みについてお話しします。

現在、多くの作業療法士が直面している報酬の低さは、単なる需給バランスの問題ではありません。それは、政策・制度のなかで私たちの専門性が十分に評価されていないという、構造的かつ深刻な問題です。この現状を放置すれば、私たちの専門性は埋もれ、社会に貢献する機会すら失われかねません。

私たちは、発達支援や認知症ケア、就労支援、企業のメンタルヘルス対策等、社会が直面する多様な課題に真に貢献できる専門職です。しかしその可能性が制度に十分反映されていないのは、政治の場に「作業療法士の声」が届いていないからです。

だからこそ、私たちは今、政治にかかわらなければならないのです。制度の枠組みそのものに働きかけ、自らの未来を自らの手で切り拓く。その覚悟と行動こそが、報酬改善と社会的地位の確立、そして作業療法士としての誇りを取り戻す唯一の道です。

その実現に向けて、私は以下の3つの柱を掲げて取

り組んでまいります。

1. 報酬改善に向けた政策提言  
診療報酬・介護報酬の見直しと新たな役割の制度化
2. 新たな職域の開拓と収益基盤の拡大  
訪問作業療法、学校、産業、司法、地域等への進出推進
3. 政治的代表者の擁立と全国組織の基盤整備  
次々期参議院選挙に向けた候補者擁立と選挙体制の確立

これらの取り組みは、連盟単独では成し遂げられません。作業療法士全体の力が必要です。そして何より、**連盟は協会や各作業療法士会と手を取り合い、専門職全体の未来をともに築いていく覚悟をもって進んで参ります。**

最後に、作業療法士の皆様をお願いします。

どうか、**連盟へのご入会をご検討ください。あなたの力が必要です。** 私たちに活動する力を与えてください。ともに作業療法の未来を築いて参りましょう。

### 医療福祉eチャンネルで、見て学ぶ作業療法



一般社団法人 日本作業療法士協会  
会長 山本 伸一

**1 講座1.5時間の単位認定番組** ※日本作業療法士協会会員ポータルサイトに反映

- 現職者共通研修 [8番組]
- 生活行為向上マネジメント [基礎編]



医療福祉eチャンネル(<https://www.ch774.com/>)での単位認定には「履修登録」「受講管理料」が必要となります。詳しくは「日本作業療法士協会員の皆さまへ」をご覧ください。



### 自宅でできるリハビリテーション **無料配信**

動画を見ながら自宅でできるストレッチやトレーニング方法の解説、自助具の紹介など。(随時更新中)

第1・2回「ADLが維持されているALS患者を対象とした体操(前・後編)」

第3回「ALS患者の日常生活支援(透明文字盤)」

# 編 集 後 記

本誌の記事内にあるように、今年も「私のできた」エピソードを募集します。早いもので、この企画も今年で4年目を迎えます。この企画では、採用者にオーティクングッズを贈呈しているため、どんなオーティクングッズを作ろうか、悩む時期でもあります。昨年の贈呈品は、アクリルスマホスタンド。スタンドの大きさがスマホと同じぐらいだとスマホを置いた時に、オーティくんが隠れてしまう。あまり大きすぎても置く場所に困るし……と、サイズも考慮しながら、デザイン会社と相談し、スマホを置いてもオーティくんがスマホの横から覗くようにデザインされたものができあがりました。今年のグッズが何かはまだ秘密ですが、素敵なものことができました。エピソードは、利用者さんと共同で執筆も可能です。ぜひ利用者（患者）さんと一緒に応募してオーティクングッズを手に入れてください。

(機関誌編集制作スタッフ)

本誌に関するご意見、お問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp)

## ■ 2024 年度の確定組織率

50.8% (会員数 60,146 名 / 有資格者数 118,465 名<sup>\*</sup>)

<sup>\*</sup> 2025 年度は会員数がまだ確定していないため組織率の算定ができません。当協会の最新の組織率としては、理事会の承認を得て確定した 2024 年度の会員数に基づくこの数値をご利用ください。

## ■ 2025 年 5 月 1 日現在の作業療法士

有資格者数 118,465 名<sup>\*</sup>

会員数 59,138 名

社員数 257 名

認定作業療法士数 1,720 名

専門作業療法士数 (延べ人数) 162 名

## ■ 2024 年度の養成校数等

養成校数 204 校 (207 課程)

入学定員 7,625 名

<sup>\*</sup> 有資格者数の数値は、過去の国家試験合格者数を単純に累計した数に、本会が把握し得た限りでの外国で取得した免許から日本国免許へ切り換えた者に加え、2024 年度までの死亡退会者数 (302 名) を除いた数として示していますが、免許証の未登録、取り消し、本会が把握し得ない死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていません。

## 日本作業療法士協会誌 (毎月 1 回発行)

第 159 号 2025 年 6 月 15 日発行

発行人：山本 伸一

制作広報室

担当：宮井 恵次、遠藤 千冬、岩花 京太郎、大胡 陽子

制作・印刷：株式会社サンワ

発行 一般社団法人 日本作業療法士協会

〒 111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル

TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp) 協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/>

求人広告：1/4 頁 1 万 3 千円 (賛助会員は割引あり)



● 協会ホームページに  
機関誌の電子版を掲載しています



## 自分が並べた商品を買ってくれる人がいる。

自分の考えや感情がまとまらず、緊張するほど何もできなくなってしまう。そんな精神障害のある20代の彼女が、スーパーで働き始めてから一ヶ月。最初は週一回でもつかれて大変そうでしたが、作業療法士が、彼女にとってつらくならない仕事のやり方を一緒に考えたり、まわりの人とのコミュニケーションを手伝っていくうちに、少しずつできることが増えてきています。

並べた野菜を買ってくださるお客さんを見るのが嬉しいと、最近はお調子がよさそう。

「うまくできるようになったね。」

「なんだか、いい顔になってるね。」

一緒に働く人たちからも売り場の一員として認められてきて、それも自信につながっているようです。

なかなか難しかったお客さんとの会話にも挑戦中。

「今日のおすすめは？」

「白菜がおいしいですよ！」

共に働く社会を支える、  
作業療法の就労支援。



2025年6月15日発行 第159号